

しなののうた

青年の松の剪定ばちばちとしじまを破る暗き境内

l.MI

杉田小百合

しなののうた

善光寺へ一丁二丁と刻まれる石は十八街を楽しむ

杉田小百合



しなののうた

参拝の香炉の前の外国人煙を浴びて燥ぎておりぬ



杉田小百合

しなののうた

苔が生す墓石  
こここ転がりて  
無縁なりしか  
寺裏の墓地

杉田小百合



しなののうた

鐘楼の春を告げくる鐘の音が霞のそらに響きわたれり



杉田小百合